

「令和6年度第2回 独立行政法人勤労者退職金共済機構契約監視委員会」の審議概要について

開催日 及び場所	令和6年9月26日(木) 勤労者退職金共済機構9階C会議室(Web開催)
委員 (敬称略)	竹内 啓博(公認会計士) 田極 春美(三菱UFJリサーチ&コンサルティング㈱主任研究員) 清水 幸(独立行政法人勤労者退職金共済機構 監事) 熊谷 麻貴子(独立行政法人勤労者退職金共済機構 監事(非常勤))
審査対象	令和6年5月～令和6年7月に契約締結された案件
概 要	<p>● 点検・見直しの審議について</p> <p>令和6年5月～令和6年7月契約の事後点検についての審議</p> <p>【競争性のない随意契約】 合計 2件</p> <p>【一者応札・一者応募】 合計 3件</p>
	<p>【主な指摘事項等】</p> <p>(1)随意契約 特段の指摘は無し。</p> <p>(2)一者応札・一者応募</p> <p>①「中退共電算システムに係るデータエントリー等業務」</p> <p>②「中退共システム再構築の新旧同一性検証作業対応のための現行中退共電算システム改修業務」</p> <p>③「次期建退共電子申請システムの構築に係る業務」</p> <p>(①②③共通)</p> <p>新規業者の参入や競争性を働かせるためには、調達準備期間について、現行業者と他業者との間で公平性を保ち、見積・予定価格作成の段階から他業者を関与させるべきではないか。</p> <p>【指摘事項等に対する対応】</p> <p>(2)一者応札・一者応募</p> <p>調達時において、新規業者の参入や調達の競争性を働かせるよう、見積・予定価格作成の段階から他業者を関与させるよう今後とも努めるとともに、現行業者が算出した見積金額について、引き続き精査していきたい。</p>